

浅川地区住民自治協議会だより



せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 103 号

発行日 令和 7 年 3 月 31 日

発行人 白 石 直 人

TEL・FAX 026-244-5165

男女共同参画推進講演会開催される

2月16日（日）「浅川地区男女共同参画推進講演会」が開催され、30余名が出席しました。

今年は「漫画で学ぼう身近なジェンダー」と題して漫画家の段丹映子さんの講演が行われました。段さんは集英社のマーガレット新人賞を得た後、ジェンダーについて関心を持ち、「週間ながの」に4コマ漫画「小さなジェンダー」を掲載、長野市男女共同参画審議会委員を務められた方です。

講演ではジェンダーとは“社会的・文化的につくられた区別”として、男女の性別の違いに関わる“男だから、女だから”という思い込みや歴史的・社会的に根強い男女の区別が差別まで繋がりがかねない状況、家庭における妻と夫の役割意識の固定化や根強い世間の評価など、ご自身の漫画を示しながらわかりやすくお話をされました。



【段丹映子さんの講演と会場の様子】



地域活動には大勢の女性が参加し、その原動力になっているにも関わらず、区長を始め区や団体の役員や、計画策定や重要な決定の場への女性の参画はまだまだ進んでいないのが現状の中で、男性とは異なる女性の視点を地域の活動に反映させ、各人が共に認め支え合う地域づくりを進めるためには何が必要か、ジェンダーの視点を通して改めて考えさせられました。

(総務環境部会・人権啓発委員会)



段さんの「小さなジェンダー」ほおずき書籍

地域の未来を考える！「自治会って何してるの？」交流会

2月6日（木）地球まんまる「市民協働サポートセンター」の主催で、地域に昔からある「自治会・町内会」が何をしているのか、知っているようで知らない自治会の役割や取り組みを改めて知る交流会が開かれ、区長や自治会の役員、住民自治協議会や自治会などに関心のある方、70名余が参加して開かれました。当地区からは白石直人住民自治協議会長、小林克巳副会長ほか事務局の関・吉永職員が参加しました。



【交流会の様子とタイムスケジュール】

交流会では第三地区と柳原の住民自治協議会からの活動事例報告の後、参加者が数人ずつのグループに分かれ、身近な家庭ゴミの収集や子ども達の安全を守る活動、お年寄りの見守りや防災活動、またお祭りの実施など様々な自治会としての活動の現状や、それに対して住民自治意識が低下している状況について話し合いました。

若槻・浅川住民自治協議会情報交換会開催される

1月31日（金）若槻地区との第9回情報交換会が両地区の住自協役員・部長・部会長・事務局長ほか18名が出席して開催されました。自己紹介の後、それぞれの組織体制や事業活動を報告、意見交換を行いました。

若槻地区からは「第3次まちづくり計画」における自然遺産・歴史遺産の活用事業、コミわか土曜朝市、若槻総フェスタの開催等、浅川地区からは住民自治協議会の組織運営上の課題や浅川ダム周辺整備や「浅川ダム祭」の開催、ブランド薬師の社殿・参道整備の状況等の活動が報告されました。

報告の後、両地区共通の課題である小規模区のあり方や中山間地域における交通対策について意見が交わされました。次回は新体制が発足した6月頃開催することを決め会議を閉じました。

終了後の懇親会では和気藹々とした雰囲気の中で時間を忘れて語り合い、隣接地区としてさらに親睦と交流を深めていくことを確認しました。

長野市住民自治連絡会議開かれる

2月20日（木）第4回住民自治連絡会全体会が市内32地区の住民自治協議会の会長・事務局長が出席して開かれました

会議では現在実施中の住民自治リフレッシュプロジェクトで検討されている諸課題の見直し～人権教育・啓発活動、日赤活動資金・共同募金の実施方法、スポーツ推進員・のうさい部長選任等～に伴う必須・選択事務マニュアルの修正案や福祉関係助成金の改正の提案・協議、住民自治リフレッシュプロジェクトの進捗が報告され地域における防災活動の推進について意見交換がありました。

会議には途中から荻原市長も出席し、長野市の令和7年度当初予算（案）について説明されました。



【会議の様子と長野市の予算案を説明する荻原市長】

「わくわくウォーキングパーク浅川プロジェクト」採択される！ ～令和7年度ながのまちづくり活動支援事業補助金審査会～



【下村地域活性化推進員のプレゼンテーションと審査委員】

計画ではこれまで進めてきた浅川ダム及び浅川河川敷、ブランド薬師を中心とした環境整備をさらに発展させ、ダム展望広場の総合案内看板やブランド薬師参道の展望が開ける場所への鳥瞰図案内板の設置、参道（遊歩道）の傾斜の厳しい箇所などの整備を行い、周辺全体として交流の場の機能を充実させ、大勢のみなさんが訪れ楽しむ浅川にしたいとする計画です。

審査委員会に先だって予備審査会が行われ応募した14団体のプレゼンテーションが行われ、浅川地区から山岸渡まちづくり計画推進委員長、白石住民自治協議会長、下村守昭地域活性化推進員ほかまちづくり推進委員会のみなさんが出席しました。

2月18日（月）令和7年度まちづくり活動審査委員会が市役所第2庁舎講堂において開催され、浅川地区住民自治協議会の「わくわくウォーキングパーク浅川プロジェクト～浅川ダムを中心とした交流の場づくり～」事業が採択されました。

『まちづくり活動支援事業』
わくわくウォーキングパーク浅川プロジェクト
（浅川ダムを中心とした交流の場づくり）
 長野市浅川地区住民自治協議会
 まちづくり計画推進委員会・代表 山岸渡

浅川地区は
 長野市北部
 飯綱山のふもと
 19地区
 人口 6100人
 2700世帯
 学校 浅川小学校
 北部中学校
 特徴 中山間地
 平坦部
 併合地域

「わくわくウォーキングパーク浅川プロジェクト」

（浅川地区まちづくり計画推進委員会）

ブランド薬師の水墨画が長野市長賞に！～長野市風景画展～



長野市内の風景画を描いた作品の公募展「第34回長野市風景画展」が開催され、日本画・水墨画の部で「ブランド薬師」が長野市長賞に選ばれたと聞き見に行ってきました。

山下輝二さんが描いた「ブランド薬師」は突き出た岩上に建つ八箇神社が墨の濃淡で繊細に表現されています。作品を描いた山下輝二さんの了解を得て掲載させていただきました。

ほかにもループ橋や緑が丘公園など浅川を描いた作品もありました。

会場の芸術館展示サロンと市役所市民交流スペース

には市民の皆さんが描いた市街地や市内の公園、神社、施設などの多彩な日本画・洋画・パステル画・版画200点が展示され、訪れた人たちが静かに鑑賞をしていました。





浅川ダム周辺利活用懇談会開催される



2月5日（水）「浅川ダム周辺利活用懇談会」が開かれ、今年度の活動経過の報告と次年度の事業内容の検討を行いました。

事業報告では「浅川ダム展望広場愛護会」による毎月の展望広場周辺の草刈り・清掃、「浅川ダム祭」での農産物直売、北部中学校の生徒さんのボランティア参加や恒例となったスティールパン演奏、浅川ダム内の通路での「浅川葡萄農園」のワインの熟成などの活動が報告されました。

来年度は「わくわくウォーキングパーク浅川プロジェクト」として長野市まちづくり支援補助金を活用して浅川ダムとブランド薬師を巡るウォーキングコースの案内板の設置や遊歩道の整備を行う計画の説明がありました。

浅川ダム周辺利活用懇談会は浅川ダムの利活用とその周辺の環境整備を行うことを目的に県・市・住民自治協議会で設立、浅川改良事務所が事務局を担当しています。県や市職員、住自協役員・OB、関係団体有志がメンバーとなっています。



【4月 鯉のぼり掲揚】



【7月 浅川ダム祭】



【毎月 ダム展望広場草刈り】

浅川小学校コミュニティスクール運営委員会開かれる



2月4日（火）今年度第2回の委員会が、改修が完了した北校舎で開かれました。

この委員会は「地域と共にある学校づくり」を目的に、学校と地域の諸団体、ボランティア活動組織が連携して、子ども達の総合的な学びを支援するために平成27年度から始められたものです。

会議では諸団体・グループから今年度実施した学校と地域の諸団体との様々な活動～あいさつ運動、じゃがいも収穫・しいたけコマ打ち体験、ふれあい会食会、読み聞かせ・紙芝居、自転車クラブ、ビオトープホタル、ゆうわ祭合唱発表、ゴミジミ保護活動、浅川チャレンジ、裁縫クラブ・家庭科実習など～について報告があり、その後、それぞれの担当の先生方と今後の活動についての打合せを行いました。

臼田教頭先生から現在行われている校舎改修の見通しについて、11月末工事完了、12月下旬仮校舎引越し、そして来年1月には仮校舎解体・校庭が復旧との説明がありました。



【委員会の様子】



世の中の平安を祈って！～今年も^{よろいだ}鎧田（北郷）に花火が上がった～



【北郷の夜空に大輪の花が！】



新年早々、長野市でも殺傷事件が起こるなど世の中に不安が漂っているような中、少しでも明るく良い年になるようお願いを込めて、今年も2月2日（日）「鎧田で花火を上げよう会」（代表：松木栄さん）による花火の打ち上げが行われました。

足下の棚田には氷のキャンドルが灯り、真冬の空に花火が美しく浮かび上がりました。



【氷のキャンドルに明かりが灯り、棚田が静かに映えました】



見学・体験大歓迎
お気軽にお越しください！

練習日：毎週 土・日・祝日 8:30-12:00

場 所：浅川小学校グラウンドほか

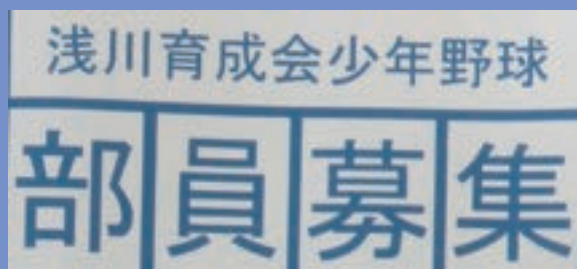
※冬期は浅川公民館分室、浅川小学校
体育館、浅川体育館

*日によって変わりますので、事前にご確認ください。

お問い合わせ

浅川育成会少年野球 担当 山口

TEL 090-7282-6315



【インスタグラム】



【ブログ】



共に生きる



暮らしに役立つ“香り”の効果

浅川公民館
冬期学級

心地よい香りで気分がリフレッシュされた経験はありますか？

今回の冬期学級では IFA（国際アロマセラピスト連盟）認定アロマセラピストの滝澤玲子さんをお招きし、香りを使った自然療法「アロマテラピー」の基礎知識と、日々の暮らしの様々な場面に適したアロマの種類を教えていただきました。

講座の後半では受講者が好きな香りを選んで「香り袋」を作りました。アロマオイル2～3種類をブレンドして作る香りは、同じ香りを選んでいても配合の違いで出来上がりも違います。受講者はそれぞれが作った「香り袋」を披露しあい、楽しんでいました。



地域で実施する福祉活動

浅川地区では住民が互いに協力し合い、地域住民のために実施している福祉活動が多くあります。これらの活動は年齢層や障がいの有無に関わらず、浅川地区に暮らす誰もが安心して暮らせるように…という信念のもとに実施されています。

今回、地域で行われている活動のことが知りたい！と地区内に住む高校生が未就園児親子を対象とした「アップルキッズ」と、どなたでもご参加いただける集い・交流の場である「11 ひよりの会」の見学に来てくれました。

自身の暮らしている地域のことを知ろうと勇気を出して参加し、質問等をしてくれる姿は浅川地区の未来に希望を感じられるものでした。

感想の声を頂きました

今回私は4月に入学する大学の入学前課題として「11 ひよりの会」「アップルキッズ」に参加させていただきました。

「11 ひよりの会」では、その場にいる人がそれぞれ自由に楽しんでいたりと、会話をしたりしている様子が非常に印象的でした。

今回参加してみて、地域の方々の温かさや、地域の活動の大切さを知ることができました。自分から知ろうとしなければ知ることのできないことでした。ありがとうございました。

地域たすけあい事業

賛助会員さん大募集！

「地域たすけあい事業」では地域の皆さんが有償で、ご近所の方の家事や病院への送迎をお手伝いしています。

協力会員として活動することは難しくても、賛助会員としてご協力いただくことができます。

賛助会員とは1口1,000円からの地域支援です。

いただいた会費は全額が浅川地区たすけあい事業の運営に使われます。

ぜひご協力をよろしくお願いいたします。



詳しくは たすけあい事業コーディネーター・野口 ☎263-3365 まで

浅川葡萄農園だより vol. 2 ～新しい醸造所でシードル製造！～



【厳冬の圃場】

浅川支所を通し継続してボランティア活動を行っている「つくば開成学園高等学校」の生徒さんと先生がお手伝いに来て下さいました。寒さ凍える雪の中、剪定枝を運ぶ重労働でしたが、若い力で一気に片付きとても助かりました。

2月の立春以降、強い寒波の襲来で雪が多く降り積もっています。美しい白銀の世界に変わり静寂に包まれるブドウ畑の中で、ブドウ樹1本1本と対話しながら今年の収穫と将来の彼らの姿を見据えながら剪定作業を行っています。



【つくば開成学園高等学校の生徒さんと】

そして先日、寺沢さゆりさん（市議・住自協顧問）主催で浅川葡萄農園ワインのお披露目会を開催していただきました。貴重な機会を設けていただきとても有難いです。



【ワインのお披露目会の様子】

地域おこし協力隊として2018年10月に浅川に移住してから7年目になりますが、地域の皆さんの支えがあって今があると実感しています。

品質の高いワインとシードルを生産して浅川を盛り上げていきたいと思いますので、引き続き応援の程、よろしくお願い致します。

（浅川葡萄農園 園主 宋 裕光）

今年も浅川地区各所でどんど焼きが行われました！

102号（1月末発行）に載せられなかったので、記録のため遅ればせながら103号（3月末発行）に掲載しました。



【北郷】



【神楽橋】



【伺去】



【西条】

広報委員から

～一年を振り返って～



今年は12月、1月と雪が少なかったのですが、2月に入って大雪となり雪かたづけが大変でした。2月末にはようやく春らしくなり、山手のりんご畑を見回りに行きましたら、りんごの枝がシカやカモ

シカに食べられて大変なことになっていました。有害鳥獣対策協議会ではシカ、イノシシの駆除をしていますが追いつきません。今年、山手の地区へ入ったハンターが地区の方から“山へ入ってはいけない”と言われることがあり大変残念な思いをしました。獣を駆除するには地域のみなさんの協力がなければできません。改めてご理解ご協力をお願いします。

一年間ありがとうございました。

鶴田敏光委員長（産業振興部会・猟友会）



去年の春から始まりあっという間に一年が過ぎてしまいました。去年の春には一年間どのようなことをするのだろうかと思っていましたが、実際に広報委員として編集の会議に参加させていただき、このように広報誌「せせらぎ」が作られているという事を知ることが出来ましたし、浅川地区では色々な行事・活動が行われているという事がわかり大変勉強になりました。一年間ありがとうございました。

小林良輔委員（総務環境部会・白バラ会）



この一年、広報委員に名を連ねていながら何の役にも立てずに過ぎてしまいました。

せめて広報誌「せせらぎ」をページの最後まで目を通さねばと、毎回反省しながら読んでいます。

「住自協」を「十字協」と誤解し、「社協」との区別がつかなかった私が、地域活動に加わるようになって、掲載写真や記事の内容が身近に感じられるようになりました。

このような情報満載の会報を多くの方に最後まで見ていただければ幸いです。

滝澤文子委員（教育文化部会・地公連総括）



4月に広報委員となり、度々住自協の皆様にお世話になりました。ありがとうございました。

浅川押田に長く住んでいますが、今の浅川のことは知らないことばかりでした。しかし「せせらぎ」の編集に携わってみて、浅川の素晴らしさがわかってきました。

「せせらぎ」は大切な役目をしています。

これからも浅川の活躍を住民の方々に伝え続けていきたいと思います。

塚田貞子委員（福祉健康部会・健康委員会）



今年度で100号記念号発刊となり、事務局の小川さん始め歴代の広報委員会の方々のご尽力があってこそその偉業に対して深く敬服いたします。

委員会では浅川地区が多くの方々の支援によって成り立っていることを実感するとともに、一方で継続維持には課題もあることを学び大変貴重な経験となりました。

これからも浅川地区の一住民として、より良い地域づくりを目指したいと思います。

一年間ありがとうございました。

倉又俊博委員（次世代育成部会・育成会）



広報誌「せせらぎ」の編集に携わらせていただき、改めて浅川地区内の様々な諸行事や活動を知ることができました。また本年度は「発刊100号」の節目にも関わることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。

これからも、浅川地区の身近な情報源として末永く発刊できますよう、皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。一年間ありがとうございました。

日下部正敬委員（安全防災部会・消防団）